



～おはなしと絵本を楽しむ～

# おはなしグループ「パルランド」通信

第25号

2022年9月

おはなしを語っていると、日本語は美しく豊かで優しいなど実感します。私たちの普段の生活では味わえない豊かなことばにたくさん出会えます。

ことばは人と人をつなぐとても大切なもの。特に、子どもの心が強くたくましく育つには、豊かな優しいことばがたくさん必要です。テレビやスマートフォンから聞こえる映像過多の現在、それをまったく無視することはできません。それなら、それ以上に、生きた人間からの、笑顔と優しいことばがけをたっぷりあげたいと思います。読書の秋、どうかみんなの心が豊かな言葉に満ちますようお願いつつおはなし会でお待ちしております✧



## おすすめのおはなし



### ヤギとコオロギ



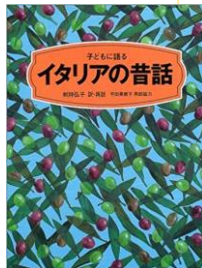
おばあさんがりっぱなブドウ畑をもっていました。  
ある日、おばあさんのブドウ畑の中にヤギがきて、おいしそうに熟したブドウを食べていました。

おばあさんは追い払おうとしましたが、うまくいきません。おばあさんが泣いていると、ロバがやってきて、ヤギを追い出そうとしますが、うまくいきません。

次に犬もやって来ますが、やっぱり追い出せません。

そこへコオロギがやってきます…  
小さな、無力な者が勝利するという定番の愉快なイタリアのおはなしです。

子どもに語るイタリアの昔話  
こぐま社



## おすすめの絵本



### サリーのこけももつみ



ある日、サリーとお母さんは、冬の間に食べるジャムを作るために、コケモモ山へコケモモをつみに出かけます。クマの親子も、冬眠前にコケモモを食べるために、同じ山にやってきました。

サリーも子グマも、それぞれのお母さんについていくうちに、お母さんを取りちがえてしまいます。

サリーと子グマは  
自分のお母さんに  
会えるのでしょうか？

ロバート・マックスキー 文・絵  
石井桃子 訳  
岩波書店



数年前までは、読書の秋は、学校でのおはなし会のご依頼に大忙しでした。今は、どうかおうちの中でご家族でおはなしを楽しんでいただけたらと願って、おすすめの本を紹介しています。図書館にありますので読んでみてくださいね。

## おはなしの記録 6月～8月実施

「鬼とあんころもち」「ひなどりとねこ」「ふしぎなたいこ」「ミアッカどん」「ヤギとライオン」など



図書館のおはなし会は、保護者の方も一緒に楽しんでいただけます。おはなしを聞くというのは、人間の根本的な楽しみです。大人の方もぜひお気軽にご参加くださいませ。



## 図書館大きな子のおはなし会



～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

毎月第1土曜日 午前10時30分～  
(30分程度)

おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など  
※予約はいりません。お気軽にご参加ください  
ただし図書館が休館のときはありません

【おはなし会のお問い合わせ】  
西脇市図書館（電話 0795-23-5991）  
パルランド 丸山（電話 090-8930-0921）



パルランド通信は「パルランド」が発行しています。